

2016.1  
Vol. 56

OSAKA SYSTEM SERVICE NEWS

# OSSニュース



しんきん大阪システムサービス株式会社

発行 〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル2F  
TEL (06) 6458-0666 FAX (06) 6343-4699

## 謹 賀 新 年

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は当社の事業運営につきまして格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、昨年日本経済はデフレ脱却と持続的な経済成長の実現を目指したアベノミクスの実施から3年目を迎え、円安、株高を背景に輸出型企業を中心に収益改善が見られましたが、中小零細企業は円安による原材料費や燃料費等の上昇により、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、昨年は信用金庫へ良質のサービスを低価格でご提供するため、全国の情報サービス会社と連携して、システムの共同利用を推進するとともに企業自振データ交換業務において、損害保険会社をはじめとした中間センター取扱自振の吸収を行いました。

昨年の主な業務状況としましては、2月に「信金補完システム (SK-Force)」、「デジタルサイネージサービス」、6月に「相続業務支援システム」をご提供申し上げ、11月に情報交換等を目的とした地区別のサービス業務懇談会を開催させていただきました。

また、11月より中国地区の全信用金庫 (21金庫) に国税振替処理・領収証書等作成サービスをご利用いただきました。

一方、内部統制としては、2月に信用金庫の委託先として、更なる安全性の強化を図るため、金融検査マニュアルを基準項目としたシステムリスクおよび情報

セキュリティ管理状況について新日本有限責任監査法人によるシステム外部監査を受検するとともに、12月には、プライバシーマーク認証の更新 (4回目) も行いました。

本年は、NTTのINS回線の廃止を見据えATM監視サービスにおける監視回線のIP化を推進し、将来的に多種多様なサービスを速やかに提供できるよう信用金庫と当社間におけるネットワーク基盤へと発展させるとともに、中長期計画に基づく自振交換システムの更改と運用部門の神戸分室から堂島センターへの移転を行う他、自社ホストマシンや自動機監視システム等のシステム更改を予定しており、これらの案件を確実に本番稼働させることが重要と考えております。

加えて、ここ数年企業を標的にしたサイバー攻撃が増加していることを踏まえ、更なるセキュリティ強化と態勢整備を進めてまいります。

当社といたしましては、既存サービス業務の安全確実な運用に努めるのはもちろんのこと、全国の情報サービス会社の総力を結集し、信用金庫の営業戦略や経営戦略に真に役立つ各種サービス業務をご提供し、信用金庫業界の情報サービス会社としての責務を果たして参る所存でございます。

最後になりますが、この1年が信用金庫の皆様にとりまして、良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

しんきん大阪システムサービス株式会社

代表取締役社長

香山 正人

(きのくに信用金庫 会長)

# ATM監視サービスにおける監視回線のIP化推進について

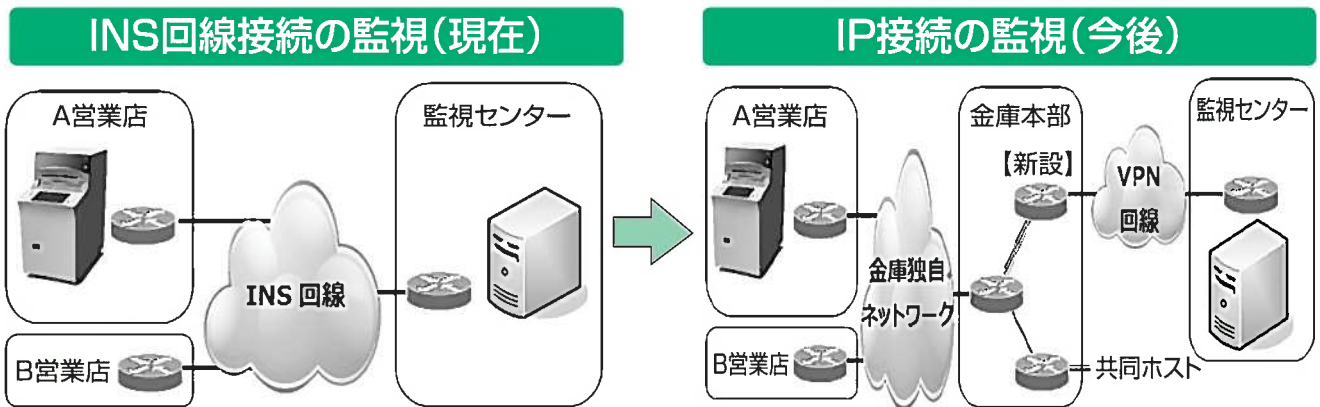
現在、ATM監視サービスにおいては、当社監視センターと金庫のATMコーナーをINS回線で接続し、ATMの障害把握や復旧指令を送信する等の監視業務を行っています。

しかし、監視業務で使用しているINS回線はNTTが2020年より段階的にサービスを終了すると発表していることから、ATM監視サービスの継続には新たな監視回線が必要となります。

当社では、新監視回線はATM監視業務に限らず他サービスでも活用が可能で金庫の費用負担を抑えて構築できる方法を検討した結果、金庫内の独自系ネットワークを流用して金庫本部と当社監視センターをLAN接続する「IPネットワーク接続」が最も適していると判断いたしました。

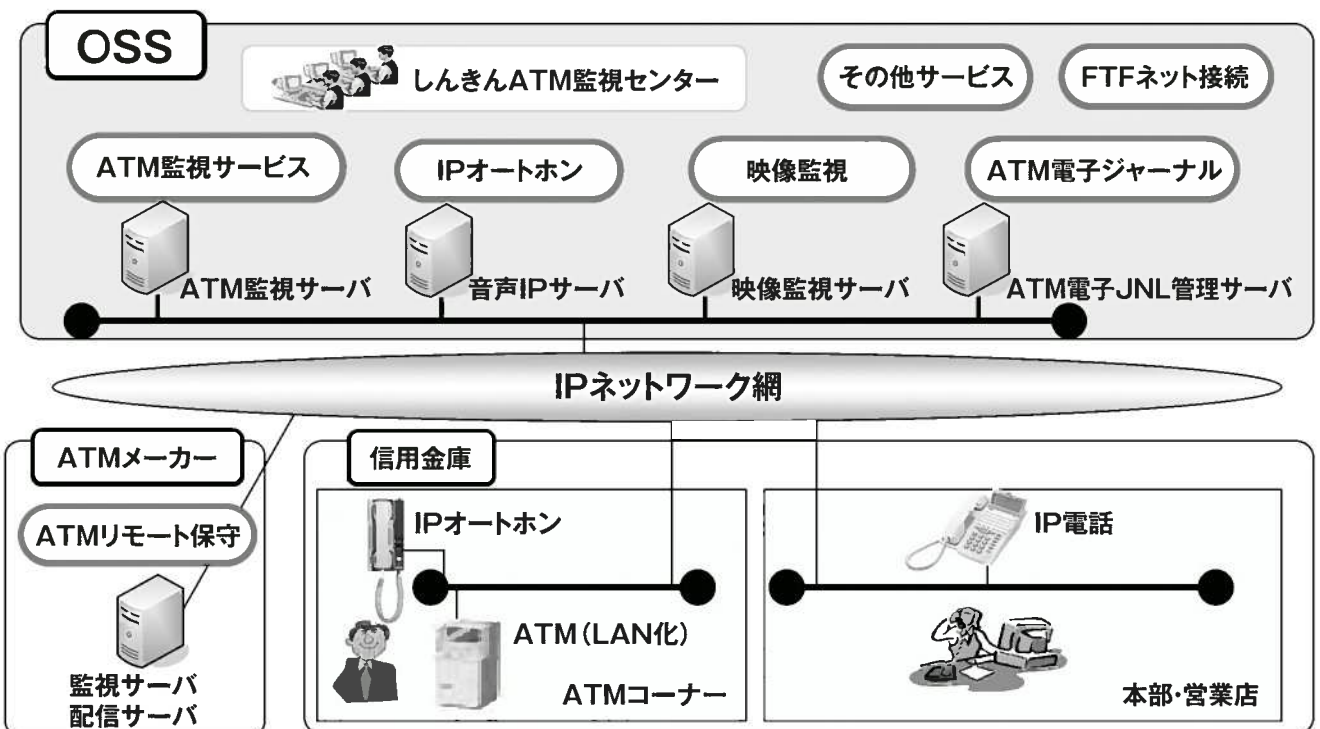
当社としましては、本年3月に金庫とIP接続するためのネットワーク設備を監視センターへ構築し、監視回線のIP化を推進してまいりますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

## 1. 接続イメージ



## 2. 将来のサービス展開

ATM監視サービスに留まらず、IPオートホン、ATMコーナーの監視カメラ映像をサーバで保管する映像監視集中管理サービス、ATM更新ソフトウェアの配信、ATMジャーナル集中保管、更に他サービス業務の提供にも利用する金庫と当社間の基幹回線として活用してまいります。

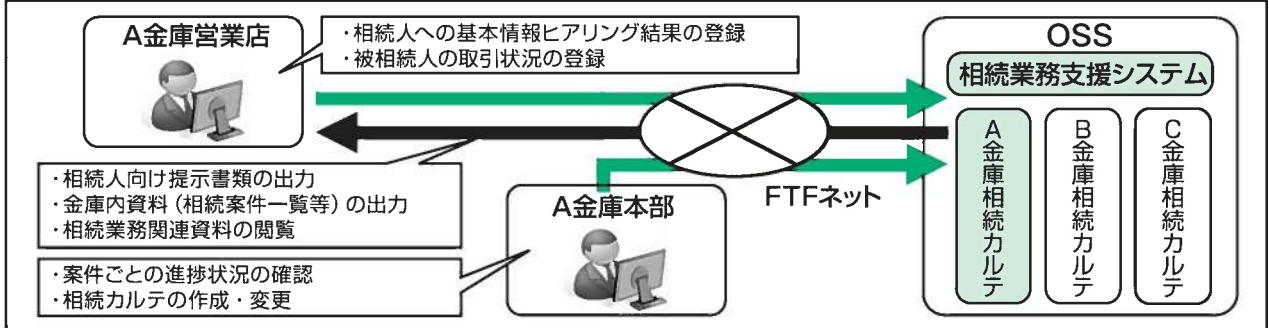


【担当】業務サービス部・自動機サービス課

# 相続業務支援システムのご紹介と利用状況

当社では、年々増加傾向にある相続案件における顧客対応の標準化、進捗管理等の事務負担の軽減を目的として、金庫設置型の相続業務支援システムを提供していましたが、この度、サーバ設置が不要で安価に利用できる全国版のシステムとして「共同利用型相続業務支援システム」を平成27年6月に提供開始し、お客様で現在14金庫から利用申込みをいただいております。

## 1. システム概要



## 2. システムの特長

- ・金庫はFTFネットに接続可能な端末を準備するだけで利用でき、サーバ等の設備が不要。
- ・本部と営業店間で相続案件の情報を共有し、進捗状況の把握が可能。
- ・金庫毎の事務取扱要領をカルテとしてシステム化するため、金庫の運用に沿った利用が可能。
- ・相続人情報を登録することにより、手続きに必要な徴求書類および関連図を自動作成。

## 3. 提供価格(別途消費税)

月額利用料金 98,000円(導入一時金等は不要)

## 4. 利用状況

OSS管内		東海地区	
金庫名	利用開始年月	金庫名	利用開始年月
滋賀中央信金	27年11月	西尾信金	27年12月
大阪商工信金	12月	磐田信金	28年2月(予定)
長浜信金	28年1月(予定)	関信金	5月(予定)
淡路信金	2月(予定)	豊橋信金	6月(予定)
湖東信金	4月(予定)	知多信金	6月(予定)
大阪信金	4月(予定)	愛知信金	10月(予定)
奈良中央信金	4月(予定)		
きのくに信金	4月(予定)		
北おおさか信金	6月(予定)		

※ご検討中6金庫

(27年12月30日現在)

【担当】業務推進部・営業課

## 「平成27年度OSS地区別サービス業務懇談会」開催

昨年11月、北陸、近畿、四国の3地区において「OSS地区別サービス業務懇談会」を開催し、総勢45金庫61名にご出席いただきました。

当日は、当社の現況および現在準備を進めております金庫と当社間のネットワーク構築について、また、今後の提供予定業務として遠隔地バックアップサービスや報告書集計システムのご案内を行いました。

また、オペリスク管理システムの料金低減化のご案内や共同利用型相続業務支援システムの現況ならびにシステム概要について説明を行い、金庫からのご意見やご要望を



お伺いするなど、活発な意見交換をいたしました。本情報交換会でいただいたご意見を参考にし、更なるサービス向上に努めてまいります。

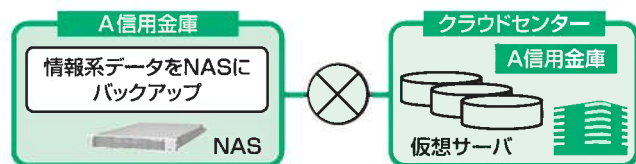
【担当】業務推進部・営業課

## 遠隔地バックアップサービスの提供検討について

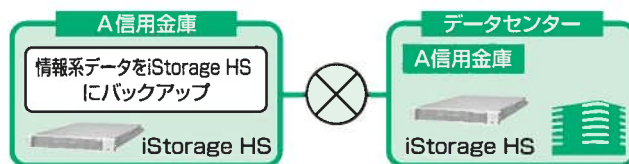
大規模災害等の有事に備え、金庫の情報系データの保護および早期の業務再開を目的として遠隔地バックアップサービスの提供に向け準備を進めています。

本サービスは、柔軟な拡張性に優れたクラウド方式とバックアップ用に最適化された専用ストレージを利用する2方式でご提供する予定ですので、是非ともご利用ご検討いただきますようお願い申し上げます。

### クラウドサービスを利用した方式



### 専用ストレージ(iStorage HS)を利用した方式



	クラウド方式	専用ストレージ方式
サービス形態	・Cloud IaaSサービスを利用 ・マルチテナント方式(仮想化基盤に環境を構築)	・バックアップ専用ストレージを利用 ・シングルテナント方式(1契約1装置)
金庫側設備	・金庫保有のNASストレージが利用可能	・ストレージ(iStorage HS)の購入が必要 (データセンター側は当社で準備)
データ圧縮	・データ圧縮なし ・データ転送時に時間がかかる	・約20分の1に自動圧縮 ・短時間でのデータ転送が可能

【担当】業務推進部・営業課

## 共同利用型 信金補完システムの稼働開始(平成27年12月より)

### ～ 枚方信用金庫様 ～

共同利用型信金補完システム(SK-Force)につきましては、昨年2月に提供を開始後、枚方信用金庫よりご利用申込をいただき、導入作業を進めてまいりましたが、予定通り平成27年12月より本番稼働を迎えることができました。

本システムはデータセンターに構築した共通基盤に仮想化技術で金庫毎の補完システム環境をご用意し、ハード資産の維持管理およびソフトウェア更改等に係る費用の低減化を実現する共同利用型システムとして、今後多くのご利用が見込まれますので、補完系システムの更改の際には、是非ともご検討賜りますようお願い申し上げます。

#### 利用のメリット

- ・補完システム維持管理費・負担の軽減
- ・事業継続性の向上
- ・金庫内の電源設備、空調、設置スペース等の削減
- ・保守対応等による職員の負担軽減

【担当】業務推進部・営業課

## 企業自振データ交換処理サービス～企業自振交換システムの更改について～

当社では、しんきん共同センターのサテライトマシンに構築した企業自振交換システムにて、自振データ交換処理を行っておりますが、平成30年のしんきん共同センター基幹系システム更改において、サテライト系が廃止となり、サテライトマシンが利用できなくなること、また、ソフト面においてもサービス提供当初からのレガシーシステムであることから、これを機に新たに自振交換システムを構築することといたしました。

新システムは、平成28年8月からの稼働を予定しており、併せて運用場所も神戸分室から堂島センターへ移転いたします。

今後、本番稼働に向け、テスト計画書に基づいたシステム検証や事前リハーサルを実施し、全ての自振企業の乗替えが無事に完了できるよう、万全の体制で取り組んでまいります。

#### 【新システムの特長】

- ・他地区情報サービス会社等で稼働実績のある日立製オープン系システムをベースに構築
- ・データ伝送で受信した振替依頼データは、オペレータが手動で処理することなく、自動的にフォーマットチェックを行い、持込処理まで完了
- ・事前にCMTへの媒体変換が必要だったFD、DVDについても、操作端末で直接処理が可能
- ・自社ホストマシンで行っていた自直振分機能(加盟金庫と自営金庫のデータ振分け)を搭載

【担当】業務サービス部・自振交換課

# OSSサービス業務ご利用の声

## — 全国版「しんきん為替集中サービス」へ移行開始 —

### 砺波信用金庫：事務集中部の皆さんのお話



事務集中部の皆さん

#### ■新システムへ最初に移行していただきましたが、その決め手をお聞かせ下さい。

当金庫は平成23年10月よりOSSの為替OCRサービスを利用しておりましたが、新システムへの移行の依頼があり、新システムの仕様について確認したところ、自動発信機能の追加やダブルエントリー方式の採用、また、月額基本料の低減など、早期に移行するほうが金庫にとってメリットが大きいと考え、移行を決定しました。

#### ■移行にあたって最も懸念された点は？

新システムでは、例えば不正防止強化のためお客様が記入した金額が訂正されている伝票は取消になる点など、旧システムと記入ルールが異なることから、移行直後は記入不備が多く発生するのではと懸念しておりましたが、担当者へ変更点を事前に周知していたため、記入不備もごくわずかであり、スムーズに運用の切替えができました。

#### ■新システムのご感想をお聞かせ下さい。

旧システムではFAX方式での利用だったため、FAX誤送信による個人情報漏えいのリスクがありました。新システムではシステムで固定された先へTMで送信(TM連携方式)するため、その心配がなくなりました。

今のところ、当金庫は自動発信機能を利用しておりませんが、新システムは2人のオペレータによるダブルエントリー方式を採用しており、入力精度が極めて高いことから、今後、新システムの運用に慣れれば本部の事務軽減のため、自動発信機能を利用する予定です。

【担当】業務サービス部・為替集中サービス課

## — オペレーショナルリスク管理システム —

### 滋賀中央信用金庫：事務管理部の皆さんのお話



事務管理部の皆さん

#### ■ご利用の目的とその経緯をお聞かせ下さい。

従来から営業店で発生した事務ミスの把握には努めていましたが、紙媒体での報告だったため、本部にあがってくるまでに相当の時間がかかっていました。また、自金庫単独では事務ミスの発生状況が許容水準内にあるかどうかかわからず不安を感じていました。

そんな折、OSSが本システムを提供していることを知り、事務ミス報告体制の向上、ユーザーコンソーシアムを通じた客観的な分析を期待し、導入を決定いたしました。

#### ■ご利用にあたって懸念された点は？

システムを導入して事務ミス件数の減少に繋がるか懸念しておりましたが、少しずつではありますが改善方向にあります。

#### ■ご利用後のご感想をお聞かせ下さい。

事務ミス発生状況の早期把握やどの業務でどのような事務ミスが発生しやすいかの傾向を掴むことで営業店への周知徹底できるようになりました。

また、ユーザーコンソーシアムでは、同じ基準で他金庫との比較や取組み状況について意見交換ができますので、事務品質向上に繋がっております。今後、より一層充実した内容にするためにも、利用金庫が増えることに期待しております。

【担当】業務推進部・業務課

当社では、より多くの金庫にご利用いただけるよう、複数金庫の同時利用を条件に月額利用料金の低減を図ります。詳細につきましては、改めて通知文でご案内させていただきます。

## プライバシーマーク認証更新について



この度、一般財団法人日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）が認定するプライバシーマーク認証について、平成27年12月に4度目の更新をいたしましたので、お知らせいたします。

当社は、信用金庫の重要な個人情報を取扱うことから、サービス業務の提供における信頼性向上を図るべく、平成19年12月にプライバシーマーク認証を取得いたしました。

以来、継続して個人情報保護マネジメントシステムに基づいた安全対策に取り組んでおり、信用金庫業界の情報サービス会社の責務として、今後とも信用金庫よりお預かりしている個人情報の取扱には定められた手順を遵守し、適切な管理・運営を徹底してまいります。

【担当】個人情報保護企画・推進

## 当社の災害対策紹介

昔から「天災は忘れた頃にやってくる」と言われています。阪神・淡路大震災や東日本大震災、近年多発する集中豪雨による甚大な浸水被害といった“まさか”の事態を想定して、「物」・「知識」・「意識」を日頃から備えることが、企業のみならず家庭においても重要なカギとなります。

当社は、災害発生時においても信用金庫へサービス業務の提供が滞ることのないよう、以下の取り組みを中心とした災害対策を行っており、今後も継続的に改善を図ってまいります。

### <当社における災害対策の主な取り組み>

#### ◎「事業継続計画」(BCP)の策定

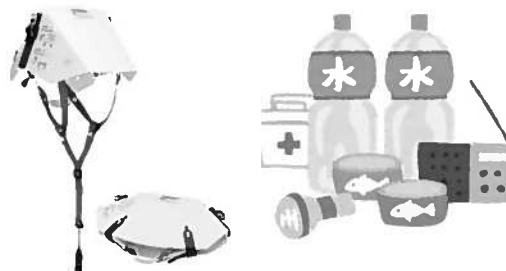
- ・災害時の体制、役割分担、行動基準等の取り決め
- ・災害対策訓練の実施および計画書の内容整備

#### ◎防災用品の準備

- ・折りたたみヘルメットをすぐに手に取れる場所に保管
- ・非常食や飲料水を常備し、定期的に在庫状況等をチェック
- ・防災用ホイッスルを常に携帯(災害時に自分の存在を外部に知らせるため)

#### ◎安否確認システムの導入、運用

- ・災害時における全従業員の状況把握や緊急連絡
- ・抜き打ちで全従業員に対してメール受信訓練を実施



折りたたみヘルメット

【担当】総務部・総務課

## 本日の名言

責任をとって仕事をする人間は、会社、工場、その他どんな社会においても、必ず頭角を現す。

責任ある仕事を歓迎しよう。

仕事の大小を問わず責任を果たせば、きっと成功する。

— デール・カーネギー —

(米国の実業家、作家、ビジネスセミナー講師 / 1888~1955)

## 編集後記

昨年、イングランドで行われたラグビーワールドカップでは、日本代表が強豪国である南アフリカに勝利し、スポーツ史上最大の番狂わせとして、日本のみならず世界に驚きと感動を与えてくれました。

なかでも、一躍有名になった五郎丸選手のキック前に行うルーティーンが注目を集めました。

ルーティーンとは、決められた一連の動作のことで、五郎丸選手に限らず、他のスポーツ選手でも気持ちを切り替え、集中力を高める場面において自分自身で決めたオリジナルルーティーンを行う光景をよく目にします。

私達も気持ちを切り替えて集中力を高めるため、自分で決めたルーティーンを実践することにより仕事の効率UPに繋がるとは思いませんか。